

豊中の未来を描こう！！

発行 2019年2月

かんばらこういちろう

神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

VOL. 148

任期満了まで
全力で
頑張ります！！

豊中市議会議員
無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ



3月議会での代表質問予定



①会議の効率化、合理化を追求～デジタル化、ペーパーレス化の推進を!!～

Q1：今年度から、政策会議をはじめとする会議における準備等の省力化、紙使用量の削減、会議運営の効率化を目的にペーパーレス会議システムを導入したが、具体的な効果と課題は？

Q2：今後、ペーパーレス会議システムを全庁的に進めていく予定はあるのか？

Q3：ペーパーレス会議システムとともに、スカイプなどを活用したウェブ会議を導入することで、出席者の移動時間の短縮を図るべきではないか？

②積極的な外部人材の登用を提案～組織機構の改正に併せて、人員体制の見直しも!!～

Q1：来年度、戦略的な都市経営の視点を盛り込むため『都市経営部』や『経営計画課』を、更に、公民連携の総合的な窓口機能を担う『創造改革課』を、戦略的に広報活動を展開していくため『広報戦略課』を、戦略的に人づくりを進めていくために『人材戦略長』を配置する予定だが、組織の改編に伴って、その職務を担う専門的なノウハウを持った人材を外部から登用することを検討するべきではないか？

③飲み物だけでなく、食べ物の自動販売機等の設置を提案～食欲に歳入確保策の実施を!!～

Q1：市は様々な公共施設内で、飲み物の自動販売機の設置を公募し、設置料を徴収することで歳入を得ているが、体育館や野球場、プール等の運動施設を中心に、食べ物の自動販売機の設置を公募して、新たな歳入を確保してはどうか？

④効果的かつ効率的な授業、教職員の負担軽減を模索～教育現場にもAIの積極的活用を!!～

Q1：各学校での定期テスト、実力テスト、全国学力学習状況調査、チャレンジテストなどの結果をAIに分析させることで、児童・生徒の学力や習熟度を適切に把握し、より効果的かつ効率的で、個々に応じた授業カリキュラムの作成が可能になるのではないかと？また、授業カリキュラムの作成をAIに委ねることで、教員の負担軽減にもつながるのではないかと？

⑤生ごみの焼却処理場の抑制を提案～ディスポーザーの設置を推奨し、環境負荷の軽減を!!～

Q1：『ディスポーザー（シンクしたに設置可能な生ごみ粉碎機）』を使用すれば、生ごみを家庭内に溜めず、常に排出処理できるため、虫や悪臭などの発生の防止、高齢者等のごみ出しの負担軽減、生ごみの焼却処理量の大幅削減、収集運搬や焼却処理に要する経費の削減など様々なメリットが考えられる。生ごみの排出量の抑制を目的に、上下水道局と環境部で、ディスポーザーの設置補助制度を創設できないか？

◆ 環境福祉常任委員会視察報告 ◆



～受動喫煙防止を目的に公園も禁煙化！！～

『生活環境の向上を貪欲に迫及』

＜東京都千代田区＞

* 生活環境条例の制定と拡大で、区内の禁煙化を推進 *

千代田区では、平成14年に歩きタバコや吸い殻のポイ捨て、放置自転車など地域環境の悪化の改善を目的に、全国では初となる「路上喫煙への罰則適用」も盛り込んだ『生活環境条例』を施行しました。

◇特徴1◇16年間で10万件を超える過料を徴収

区役所及び警察のOBを、非常勤職員として雇用し、毎日、生活安全指導員として、巡回パトロールを実施し、路上喫煙者に対し、平成30年3月までに、合計10万7134件の過料(2000円)処分。

◇特徴2◇条例を拡大し、公園も禁煙化

当初の条例では、公園が罰則の対象外だったため、喫煙者が集中し、分煙化や子どもたちが利用する時間帯の禁煙化に取り組んできたものの抜本的な解決には至らず。

そこで、平成30年度から、子どもの利用が多く、保育園の代替園庭になっている公園などを路上禁煙地区に指定し、過料の徴収を開始。現在、区が管理する公園56か所のうち、17か所が禁煙化され、今後も随時、拡大を検討中。

◇特徴3◇喫煙所の設置助成も同時に実施

ただ単に禁煙化を進めるだけでは、罰則が適用されない私有地等に喫煙者が集中することから、たばこ事業者等に対して、喫煙所の設置助成を行い、喫煙スペースの創出を図り、路上喫煙を防止しつつ、喫煙者而非喫煙者が共生できる社会づくりを推進。

在住者はほぼ賛成、在勤者やたばこ事業者はほぼ反対

公園の禁煙化に対するアンケート調査では、区民の9割以上が賛成する一方、千代田区に働きに来られている方やたばこ事業者からは、反対の意見が多い。

どんなまちで生活したいかが最重要！！

豊中市でも現状の一部の駅周辺だけでの路上禁煙地区の指定から、原則、市内全域の路上禁煙地区の指定、更には、公園の禁煙化を早急に進めるべきです。個人的には、そういうまちで、家族と生活し、子どもを育てたいと思います。

～健康マイレージは健康増進に

繋がるのか！？～

『費用対効果の高い事業を目指して』

＜埼玉県さいたま市＞

豊中市でも健康マイレージ事業の制度構築に向けて検討中ですが、さいたま市は、平成28年からめざせ！1日8000歩と銘打って、健康マイレージ事業を開始されました。

◇特徴1◇8000歩/日で5ポイント付与

活動量計もしくはスマートフォンアプリで、歩数を測定し、8000歩/日以上歩いた市民に5ポイントのマイレージポイントを付与、年間最大で1800ポイント付与ポイントは景品の抽選応募や、Tポイントに交換可能。

◇特徴2◇体組成計を使った測定会の実施

体組成計を数台購入し、体重・体脂肪をはじめ、1日の基礎代謝量、筋肉量、脂肪量などの測定会を頻繁に実施。

★事業の課題1★参加人数の伸び悩み

平成28年度3624人、平成29年度6845人、平成30年度3458人。

★事業の課題2★事業予算がかなり高額

年間の事業経費は、約1億5千万円から2億円。

事業を開始する前に課題整理が重要！！

単にポイントを付与するだけでは、健康づくりに関心のある方の参加がほとんどで、関心のない方の参加をいかに促していくかの検討が必要です。

また、健康マイレージ事業の事業効果を測るため、市民の健康状態の向上・改善がどの程度達成されたかを数値化すべきです。豊中市で、健康マイレージ事業を実施する際は市民の健康増進に直接的に寄与する取り組みや健康意識が高まる制度構築が必要不可欠だと思います。

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp



発行元 前向きひろば ～Positive Square～

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階

TEL&FAX:06-6854-5664

平日(土・祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

http://www.geocities.jp/positive_square/

Facebook 活用しています！！

「つながり日記」毎日HPで更新中！！

※ご希望の方には通信を無料でお届けします。お気軽にご連絡ください。



前向きひろば 神原宏一郎 事務所

